



野口昌作議員

歩くプール中止の見直しを

町長

バランスのとれた
施策を図る

問 町長は歩く温水プール中止の発表をした。

前町長が予算化し議決もしている。

①介護予防施設としての

効果をどう認識しているか。

②選挙公約との結びつき

は。

③介護予防施策の推進は。

答 (森田町長)

①歩くプールの効果は

・自分に合った強度で、

全身の筋肉を鍛えられる。

・腰痛が改善される。

・生活習慣病の予防や改善に効果がある。

・浮力により膝が悪い人の運動に適している。

・現在水中ウォーキング

の参加者は、気持ちや身体が軽快になった、通院回数が減った、疲れにくくなった等実感している。

②公約云々でなく、現場に出向き検討し判断をした。

③「安心と元気」を基本とする町づくりを訴えてきた。

高齢者がいつまでも元気で暮らせるバランスのとれた介護予防施策の充実に努める。



介護予防施策のひとつ 3B体操

結婚対策をどう進めるか

町長

事業を検証し新しく
対応する

問 社会福祉協議会で「部落座談会」を行った。

出席者の話である。

・集落に子どもがいなくなり非常に寂しい。

・未婚者が多い……。

子や孫に囲まれ「生きてきてよかった」「人生

で大きな仕事をしたのだ」と噛みしめることが出来る結婚生活が敬遠されて

いる。家庭や集落や地域が成り立たない状況にある。

この課題をどう位置づけて計画、予算化、実施に取り組むか。

答 (森田町長)

町内を見渡すと子どもの数が減少し、小学生、中学生が全くいない所もある。

未婚者が多いのも現実である。少子化の傾向は全国的な流れだが、町の抱える大きな課題である。

少子化の要因はさまざまであるが、若者が結婚しない、晩婚化、子どもを生み育てる社会環境の不備等があげられる。

本町では、17年度から結婚対策協議会を設置し

て、独身男女の出会いの場を提供する取り組みを行っている。

今年度は今までの事業を検証し、新たな事業を模索する。

京阪神等から農村体験ツアー等の事業展開を考えた。

来年度以降実施に移していきたい。

このほかに、集落内道路の拡幅と町内道路の管理、農地管理の取り組みについて質問した。



子どもは宝 子育て環境の充実を